

今年で5年目を迎えた交流サロン

「おしゃべりカフェ」

運営責任者 西古 尚史さん（鳥取県日野郡日野町黒坂 日野町公民館内）

黒坂の「おしゃべりカフェ」は「誰でも気楽に立ち寄ることができる場所が欲しい」という地域の声を受けて、一人暮らしの高齢者の孤立を防ごうと、住民のみなさんと日野町・鳥取県の協力により平成25年6月2日にオープンしました。現在は約20名のボランティアの方が運営されています。

5周年を目前に控えた今年5月8日には来客が通算20,000人となり、最近では1日に30人から40人くらいの方が訪れています。カフェでは、数種類の豆がブレンドされたこだわりの本格コーヒーが楽しめ、そのコーヒーを飲みたくて集まって来る人も多いそうです。

ボランティアスタッフは、来られる方の健康や家族の状況に気を配り会話を交わすことで、カフェを中心に広がるコミュニティーを作り出す重要な役割を担っています。

ボランティアの確保が課題ですが、夏休みには元気な日野中学生1名がスタッフに加わりました。幅広い世代のボランティアに支えられている「おしゃべりカフェ」は、誰でも気楽に立ち寄ることができる交流の場として地域に定着しています。

問 日野振興局 地域振興課
電話：0859-72-2086 F A X：0859-72-2072



日野町公民館で毎週火・木曜の午前10時から午後3時までオープンしています。カフェは多くのボランティアで支えられています。



丁寧にネルドリップでコーヒーを入れます。



「お待たせしました。」
「ありがとう。」

日野郡における養蜂振興に向けた 新たな取組



～日野郡みつばちネットワーク協議会～

養蜂という営みは、まさに自然からの恩恵をいただくという行為であり、山や農地など、先人が守り、育ててきた財産があってこそ得られるものです。そのような意味で日野郡はたいへん恵まれた環境であり、近年、蜜蜂の飼育者が年々増加しています。

このような中、安定的かつ安全に蜜蜂を飼育できる環境づくりを目指し、日野郡みつばちネットワーク協議会（以下、協議会）が設立されましたので、その取組を紹介します。

蜜蜂の飼育状況

現在、日野郡内では、40名程度の方々が合わせて400箱以上の巣箱で養蜂を行っています。郡内の多くの飼育者がニホンミツバチを飼育していることが特徴です。（他の地域ではセイヨウミツバチを主体とした養蜂が一般的です。）

協議会の設立

協議会は、本年2月、4名の蜜蜂飼育者が発起人となり、設立されました。蜜蜂飼育者のほか、JA、水稲防除業者、町・県機関も加わり、会員相互の交流と連携によって、養蜂に関する情報の収集・共有、伝染病の予防と蔓延防止、農薬被ばくによる蜜蜂被害の防止、蜂蜜を使った特産物育成などの取組を進めていきます。



協議会設立総会の様子

現在までの取組

7月13日に開催された研修会では、蜜蜂の主要病害と対応策を学ぶとともに、無人ヘリコプター防除に携わるJA、水稲防除業者の担当者との意見交換が実施されました。また、伝染病の蔓延防止、巣箱の配置調整、クマ被害の早期把握等をねらいとして、蜜蜂の飼育情報（場所、巣箱数、連絡先等）を地図化した養蜂マップを会員相互で共有することになりました。



ニホンミツバチの巣箱を囲んで情報交換する会員

ニホンミツバチ豆知識

- 日本固有の野生種であり、自然の中では大木の洞などに巣を作って生息。
- セイヨウミツバチよりも一回り小型。温和しく几帳面な性格。
- 市販されている蜂蜜のほとんどはセイヨウミツバチのもの。
- 蜂蜜の量はセイヨウミツバチより少なく、希少価値がある。

ツキノワグマの出没に注意！！



日野郡内では、今年は昨年と比べて、春先からツキノワグマの目撃情報が増えています。キノコ狩りやクワリ拾い等で山林に入られる際などは、早朝や夕方以降の入山を避けるとともに、クマよけの鈴等を所持して人の存在を知らせ、ツキノワグマに出会わないようにする対策をとみましょう。ツキノワグマにとって、秋は冬眠に向けて体に脂肪を蓄えるために食べ物をたくさん食べる時期であることから、山林内に限らず柿等を求めて集落周りへ出没する場合がありますので、特に注意が必要です。



また、ツキノワグマは食べ物に対する執着心が高く、見つけた食べ物を食べつくすまでその場所に居座ると言われていますので、万が一、ツキノワグマを目撃された場合、追い払おうとする行為はとても危険ですので絶対に行わないとともに、ただちに目撃された場所の町役場に通報をお願いします。

【通報先】

- 日南町役場 農林課 電話：0859-82-1114
- 日野町役場 産業振興課 電話：0859-72-2101
- 江府町役場 農林産業課 電話：0859-75-6610

日野振興センターとして



日野郡内で飼育されているニホンミツバチ

協議会の活動を行政が支援するねらいは、養蜂振興にとどまらず、稲作をはじめとする日野郡内の大切な産業や資源を守り、それぞれの立場を理解、尊重しながら共存可能な社会を作りたいという願いからです。関係者のご理解とご協力をいただきながら、立場や意見の違いを乗り越えていきたいと思っております。どうかよろしくお願いたします。

問 日野振興局 農業振興室
電話：0859-72-2005
FAX：0859-72-2011